

中国語勉強してみませんか(テキスト版)

※動画より一部省略等していることがありますので、詳細は動画をご覧ください。

皆さんこんにちは。弁護士の山上祥吾です。

今回も、偉そうにこんなタイトルを付けてしまいました。

私は、業務において中国語を使っているのですが、中国語って楽しいよというお話をさせていただこうと思います。

中国語っていうと難しい、発音いっぱいあるんでしょう？と思われる方もいらっしゃると思います。

しかし、実は、非常に勉強しやすい言語なんです。

①まず、中国語では、声調といって、四声、4つの発音があります。

有名なところでは、妈 ma1 麻 ma2 马 ma3 骂 ma4 ですね。

ただ、これが有名すぎると思うんです。

思うんですが、中国語の教え方として、これ、多分昔の中国語の先生達が、生徒に興味を持たせようとしたんじゃないかなと感じています。「ほら、こんな特徴があって、面白いでしょう」って。

でも、思うに、語学に興味がない人には、かえって難しいと思わせて、やる気を失わせてますね。

これが難しく思われている第一の点なんですけど、実は、4つだけ、なんです。

声調は例えば、ベトナム語には6つ、広東語には9つあるんです。

私以前ベトナム語勉強しようとして諦めました。

なので、4つしかない、っていうのは、実は簡単な方なんです。

②次に、百歩ゆずって、やっぱり、日本語にはない声調、4声があるから難しいというご意見も、あるかと思いますが。

しかし、実は、中国語では、原則として、1つの漢字に1つの読み方しかないんです。例外的に、複数の読み方がある漢字もあるのですが、非常に少ないです。

でも、日本語どうですか。例えば「生」という字ですが、例えば、せい、しょう、いきる、うむ、なま、き、しばふ、うぶ、あいにく、まだあるかもしれません。

外国の方が日本の漢字を勉強するときに難しいのが、これだそうです。

でも、中国語では、基本的に「生」の字の読みは、「sheng1」だけなんです。

どんな単語、熟語で出てきても、「sheng1」としか読まない。

だから、「sheng1」と覚えれば終わりです。

③次に、中国語の文法は基本、英語と同じとされています。

This is a pen くらいよく出てくる例文で

我是学生

I am a student

なので、中国語を勉強すると、英語の文法にも慣れます。

でも、英語と大きく違うのは、中国語には、a とか the といった 冠詞がありません。さらに時制で単語が変化しません。「現在完了」なんてものもありません。

過去のことを言いたかったら、例えば、「了」という単語を付け加えるだけでいいんです。

名詞が複数有的时候に、「s」を付ける、というようなこともありません。

さらに、ちょっと長い文章になってくると、文法として、日本語と同じ文法でも通じるときがあります。純粋に英語と同じではないんです。

なので、発音さえ合っていれば、日本語と同じ文法で話しても、分かってもらえることは多いと思います。

④さらに4点目として、日本と中国は昔から関係が深いんです。漢字も中国から輸入したんです。

だから、多くの言葉、とくに専門用語が同じなんです。これは韓国語でも見られる傾向です。

なので、専門分野になるほど、日本語の単語を中国語読みすれば通じるんです。なので、慣れてくれば、感覚的には日本語の方言に近いと言ってもいいかもしれません。

以上、中国語が勉強しやすいです、ということをお話させていただきました。

是非皆さんも興味がありましたら、中国語を勉強してみてください！